

「県工事成績・施工実績評価換算表」の見方
(令和9・10年度県建設工事入札参加資格における総合点数の内容の2の(1))

1 対象期間

建設工事の種類	対象期間	対象年度(※)
土木一式、舗装、造園	5年間	令和3年度～令和7年度
建築一式、電気、管	10年間	平成28年度～令和7年度

※県の事業年度(4月～3月)であり、各建設業者の決算期とは異なる。

※県工事成績・施工実績評価の対象団体は、以下のとおり

- ・鹿児島県(知事部局、教育庁、警察本部、県立病院局、工業用水道部)
- ・その他団体(鹿県地域振興公社、鹿県住宅供給公社、鹿県住宅・建築総合センター、鹿県道路公社、鹿県建設技術センター、鹿県環境整備公社)

2 工事成績の算定方法

(1) 工事成績

- ① 各年度の工事成績の平均点の合計を、工事実績のあった年数で割った値。
- ② 1の対象期間内に「工事実績がない年度」がある場合は、当該年度は工事成績の対象の年数には含めない。

(2) 各年度の工事成績の平均点について

- ① 同一事務所から受注した場合
 - ・工事が1件の場合…当該工事の工事成績とする
 - ・工事が複数ある場合……各工事成績の平均点を工事成績とする
- ② 複数事務所から受注した場合
 - ・各事務所ごとの工事成績の平均点を合算して算出した平均値を工事成績とする

(3) 工事成績の対象の有無

- ① 年度内に工事が完成した場合は、当該工事の工事成績を算定する。
- ② 年度内に工事が未完成(繰越工事)の場合で、
 - ・前金払等の受取有りの場合……以下表の点数を当該工事の工事成績とする
 - ・前金払等の受取無しの場合……工事成績の対象としない
- ③ 同一年度・同一事務所内での工事において、繰越工事や工事成績対象外の工事(500万円未満、寄州除去、伐採・除草のみの工事など)のみを受注した場合は、以下表の点数を当該工事の工事成績とする。

(当該工事の年度ごとの工事成績)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
点数	78	78	81	81	81	81	83	84	84	84



当該建設業者の工事成績が決定

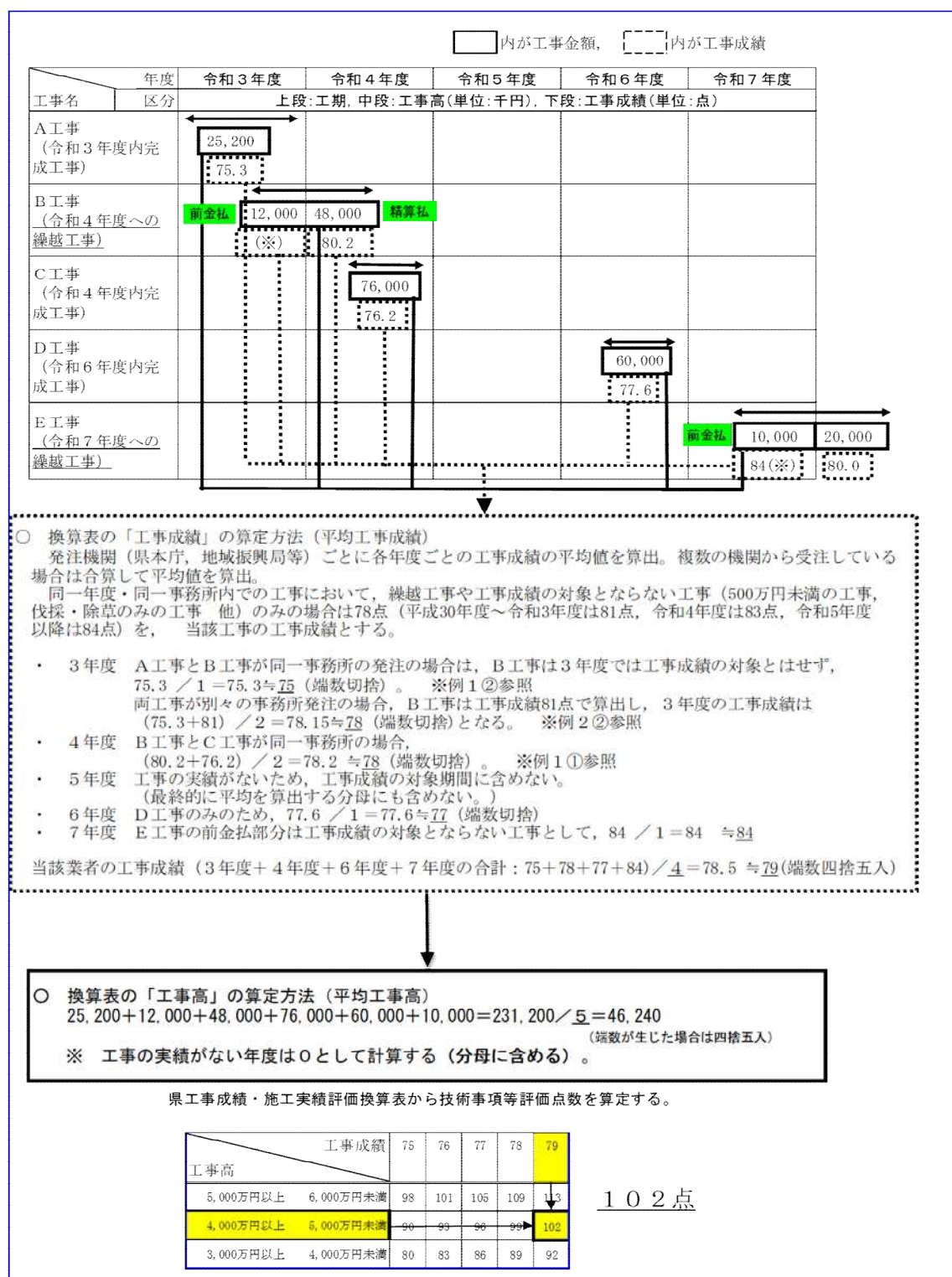
3 工事高について

各年度の対象となる建設工事の種類ごとの完成工事高の合計を対象期間で割った値

※ 各年度の工事代金の支払額を各年度の工事高として算定する。

- ・繰越工事の場合は、当該年度支払分のみを工事高として計上する。（債務負担工事を含む。）
- ・共同企業体（JV）の場合は、JV協定書の出資割合に応じた工事高をそれぞれ計上する。

4 点数の算定方法（例：土木一式の場合）



○一年度における工事成績計算方法

例1：同一事務所発注の場合

①（次年度への）繰越工事なしの場合

R 4 年度 (単位：千円，点)

県本庁（〇〇課）			
工事名	工事高	工事成績	備考
B 工事	48,000	80.2	R3からの繰越工事，R4年度完成
C 工事	76,000	76.2	

R 4 年度工事成績計算

B 工事 C 工事

$$(80.2 + 76.2) / 2 \text{ 件} = 78.2 \div 78 \text{ 点 (端数切捨)}$$

②（次年度への）繰越工事ありの場合（前金払等の支払あり）

R 3 年度 (単位：千円，点)

県本庁（〇〇課）			
工事名	工事高	工事成績	備考
A 工事	25,200	75.3	
B 工事	12,000	—	R4への繰越工事前金払分

R 3 年度工事成績計算

A 工事 B 工事

$$(75.3 + -) / 1 \text{ 件} = 75.3 \div 75 \text{ 点 (端数切捨)}$$

※B工事は同一事務所発注のため工事成績の対象外

例2：複数事務所発注の場合

①（次年度への）繰越工事なしの場合

R4年度

（単位：千円，点）

県本庁（〇〇課）				〇〇支庁（〇〇事務所）			
工事名	工事高	工事成績	備考	工事名	工事高	工事成績	備考
B工事	48,000	80.2	R元からの繰越工事，R2完成	C工事	76,000	76.2	

R4年度工事成績計算

・県本庁（〇〇課）

B工事

$$(80.2) / 1件 = 80.2点$$

・〇〇支庁（〇〇事務所）

C工事

$$(76.2) / 1件 = 76.2点$$

②（次年度への）繰越工事ありの場合（前金払等の支払あり）

R3年度

（単位：千円，点）

県本庁（〇〇課）				〇〇支庁（〇〇事務所）			
工事名	工事高	工事成績	備考	工事名	工事高	工事成績	備考
A工事	25,200	75.3		B工事	12,000	—	R4への繰越工事前金払分

R3年度工事成績計算

・県本庁（〇〇課）

A工事

$$(75.3) / 1件 = 75.3点$$

・〇〇支庁（〇〇事務所）

B工事

$$(81) / 1件 = 81点$$

※B工事はA工事と別機関発注でかつ繰越工事のみのため，工事成績81点で算出

$$(75.3 + 81) / 2 = 78.15 \div 78点(端数切捨)$$

「完成工事高評価換算表」の見方
(令和9・10年度県建設工事入札参加資格における総合点数の内容の2の(3)のア)

Ⅱ 完成工事高評価換算表（令和8年度鹿児島県建設工事入札参加資格における総合点数の内容の2の(3)のア）

1 完成工事高評価換算表の構成

(1) 対象となる建設工事の種類

土木一式工事、建築一式工事、舗装工事、電気工事、管工事、造園工事

(2) 年間平均完成工事高

経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書の「完成工事高（2年平均又は3年平均）」欄に掲げる工事高を用いる。

(3) 留意事項

土木一式工事については、とび・土工・コンクリート工事、石工事、しゅんせつ工事、解体工事を、建築一式工事については、大工工事、屋根工事を合算の上、年間平均完成工事高として計上する。

2 点数の算定方法（例：土木一式工事の場合）

経営規模等評価結果通知書
総合評定値通知書

許可区分	建設工事の種類	総合評定値(P)	完成工事高	
			〇年平均	評点(X1)
特	010 土木一式	〇〇〇	420,000	〇〇〇
	011 プレストレストコンクリート	〇〇〇	155,500	〇〇〇
般	020 建築一式	〇〇〇	35,000	〇〇〇
特	050 とび・土工・コンクリート	〇〇〇	67,500	〇〇〇
	011 法面処理	〇〇〇	0	〇〇〇
特	060 石	〇〇〇	3,050	〇〇〇
特	140 しゅんせつ	〇〇〇	0	〇〇〇
特	290 解体	〇〇〇	0	〇〇〇

○ 換算表の「年間平均完成工事高」の算定方法

土木一式+とび・土工・コンクリート+石+しゅんせつ+解体

$$= 420,000 + 67,500 + 3,050 + 0 + 0 = 490,550$$

完成工事高評価換算表から技術事項等評価点数を算定する。

年間平均完成工事高	点 数
5億円以上 6億円未満	73
4億円以上 5億円未満	69
3億円以上 4億円未満	66

69点